

もくじ

- ・ ピノキオ

ピノキオ

げんさく： カルロ・コッローディ

イラスト： ナナホシ

へんしゅう： イエローバードプロジェクト

きぼりしょくにんの ゼペットじいさんは、
ながいあいだ、ひとりぼっちで くらしていました。

「うちにも こどもが いれば、
さみしく かんじることも
ないんだろうなあ・・・そうだ！」

ゼペットじいさんは、きをけずって、
こどもの にんぎょうを つくりはじめました。

「このこの なまえは・・・よし、
『ピノキオ』にしよう！」

やがて ほりあがってきた ピノキオのかおは、
めが おおきくて、はなの たかい、
なかなか ハンサムに しゃがりました。

ふと なんだか、ピノキオが ほほえんだような
きがしたので、ゼペットじいさんは ピノキオに
はなしかけました。

「こらこら。まだ できていないんだから、
うごいちゃだめだよ」



すると・・

「ふふふ、だって くすぐったいんだもん。おとうさん」

なんと ピノキオが、
えがおで ことばを はなしたのです。

「なに！ いま しゃべったのは、おまえかい！？」
「そうだよ、おとうさん。
ねえ、はやく ぼくのからだも つくってよ」

ゼペットじいさんは、あまりの おどろきに、
てに もっていた ノミを おとしてしまいました。

それから ゼペットじいさんは、
すぐに ピノキオのからだを ほりあげました。

「わーい！ わーい！
おとうさん、あるけるんだよ、ぼく！」

ピノキオは うれしそうに、
いえのなかを はしりまわりました。

